



豆まきで邪鬼払い (わちエンジェル)

## 12月定例会

- 2p 3億7,690万円の追加補正
- 4p 丹波食彩の工房を引き続き指定管理に
- 6p 「丹波マーケスへの委託料・補助金は」など10人が一般質問
- 16p この町から情報発信を

議会だより 京丹波 第20号 発行日 平成22年2月17日

発行/京都府京丹波町議会  
〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷2番地  
TEL. 0771-82-3805 FAX. 0771-82-2816

E-mail: gikai30@town.kyotamba.kyoto.jp  
URL: http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/gikai/



## この町から情報発信を



もり や ゆたか  
森谷 豊さん  
(蒲生・29歳)

—どうして京丹波町に関わるようになったのですか。  
森谷 学生時代に友人からこっちの会社に誘われて、京都市内から通うようになったのがきっかけです。

—なぜ京丹波町に腰を落着けようと思ったのですか。  
森谷 最初は腰掛けのつもりでした。人間関係が閉鎖的なイメージを勝手に持っていて、よそ者には馴染めないんじゃないかと。だ

けど色々な人と出会うって関わっていくうちにそうじゃないと気づきましたし、町に愛着もわきました。

—パソコン関係のお仕事をされていますが、不便なことはないですか。  
森谷 まだ京丹波町民歴は浅いですが、森谷さんは10年後に京丹波町が、ど



友達募集中!

森谷 仕事の面で不便を感じることはほとんどありません。今の時代、情報の収集、発信をすることにおいては都心から離れていることはハンデイにはなりません。逆に渋滞等のストレスとは無縁ですし、自然環境も良い所ですから、市内にいる時よりはかどるくらいです。用事があれば京都市内も大阪にもすぐ出られますしね。

—まだ京丹波町民歴は浅いですが、森谷さんは10年後に京丹波町が、ど

なまちになって欲しいとお考えですか。  
森谷 誰もが情報を発信しているまちになって欲しいですね。町に住んでいる人に行政サービスに関する情報を提供するのももちろん、日本中にこの町の情報を発信する。また、住んでいる人達もまちのことや自分の農作物、製品、商品等を情報発信する。自然環境の良さや今の魅力を保ちながらものすごく先進的なまち。こんなまちになって欲しいです。そのためこの町で仕事をしていきたいですね。

(記号マシ)



## 議会の傍聴におこしく下さい!

次回の議会日程は下記のとおりです。

3月定例会  
3月5日(金)  
午前9時から

傍聴の手続きは簡単ですので、皆さんお気軽に傍聴におこしく下さい。(受付簿に住所・氏名を記入するだけです。)

一般質問や委員会日程などの詳しい内容は3月上旬の議会運営委員会で決定されます。

お問い合わせ  
議会事務局 TEL 82-3805  
FAX 82-2816

## 編集後記

「鬼は外：福は内…」にぎやかに、笑顔いっぱいの子供たち。

表紙の子供たちのような笑顔が、京丹波町中にひろがるように、町民のみなさんとも

に明るくて、元気いっぱいに住みよいまちづくりの議員一同、がんばってまいります。議会ホームページの「意見箱」にもみなさんの声をお聞かせください。(M.S)

# ケーブルテレビ拡張整備事業、 新型インフルエンザ対策などに

3億7,690万円の追加補正

## 主な補正予算

会計名	補正額	補正後の額	主な内容	採決の結果
一般会計	3億7,690万円	122億9,900万円	南丹地区農用地総合整備事業 1億7,742万円 ケーブルテレビ拡張整備事業 1億3,378万円 障害者自立支援事業 3,684万円 心身障害者医療事業 634万円 老人福祉線出金 1,652万円 新型インフルエンザ対策 1,017万円	全員賛成
特別会計	国保事業	2,970万円	保険給付費の増額 基金安定基金の確定	全員賛成
	介護保険事業	5,250万円	居宅介護サービス給付 老人保健施設サービス	全員賛成
	町営バス事業	△646万円	バス購入費の確定 人件費の精査	全員賛成

21年第4回定例会は、12月8日から24日までの17日間開催されました。本定例会には、副町長の選任を始めとする人事案件、一般会計・特別会計補正予算、指定管理者の指定、購入契約など28議案が提案され全議案を同意・可決しました。

一般質問には10人の議員が立ち、33項目について執行部の所見を求め、疑義をただしました。

## 補正予算

3億7,690万円を増額する一般会計補正予算、国民健康保険8件の特別会計補正予算

## 【主な質疑】

### 一般会計

**問** ケーブルテレビの拡張整備工事について交付金を前倒しで実施

が提案され、全議案を可決しました。

なお、今回の補正では、緊急対策として新型インフルエンザ対策費も提案されました。

**問** ケーブルテレビの加入申し込み状況はどうか。

**課長** 丹波地区で1881件、和知地区で1139件、丹波・和知地区全体では67%くらいになっている。

**問** 自殺防止対策と事業費の使い道は。

**町長** 担当部署を決めて、一人でもそういう人がでないように対処したい。

**課長** 青少年の指導者への心の教育、心の健康に関する講演会の開催にあてたい。



新型インフルエンザ対策（京丹波町病院）

## 町営バス運行事業特別会計

**問** 料金を半額にする社会実験の成果は。

**課長** 路線により違いはあるが、乗客数に大きく変化はなかった。

**問** 年末年始の臨時バスの運行は。

**町長** 臨時バスの運行も大切であるが、土曜日運行について全精力で取り組んでいきたい。

## 介護保険事業特別会計

**問** 介護サービスの保険給付費、負担金が増額になっているが。

**課長** 新規のデイサービス事業所の増加にもない利用者が増えたためである。

## 国保特別会計

**問** 国保税の収納状況はどのようになっていくのか。

**課長** まだ納期がきていない部分があるが21年10月末の収納率は、43・7%で前年の同時期より3.3%落ちこんでいる。過年度分は6.8%である。

**問** 22年度の保険料も引き上げとなるか。

**町長** できるだけ引き上げずに、収納率を上げたいと考えている。

**問** 収納率向上のための手段は。

**町長** 保険税のみでなく町民税、固定資産税を含む滞納が見受けられるため、それぞれの



引き込み線工事が始まったケーブルテレビ（上乙見地内）

**課長** 瞬時警報システムの今後の保守点検などの経費については、機器が正常に作動していくための点検手数料程度と考えている。

**問** リストラや親の収入が減ったことにより、就学援助費を受ける子どもたちが増えているのではないか。状況と制度の周知方法は。

**次長** 要保護、準要保護とも横ばいの状態であり、周知徹底については毎年行っている。それぞれの家庭の状況を先生が知るところとも大切だと思っている。全員に申請書の配付は考えていない。今までもおりでご理解をたまわりたい。

**問** 合併浄化槽の普及率は、当初計画の100%で変更はないのか。また、到達の目的はいつころなのか。

**町長** 100%をめざ

**問** ふるさと納税制度をもっと周知した方がよいのではないか。

**課長** 現状としてはホームページに掲載してPRしているが、町内外の方々に、周知できるように方策を考えていきたい。また、寄付をいただいた方に、ふるさと産品などを送付



ひなたぼっこで楽しい会話（富田地内）



**指定管理者の指定**

京都・丹波食彩の工場の指定管理者に、引き続き丹波清光ファーム及びびつづ屋を指定

指定の期間は22年4月1日から27年3月31日までの5年間とするもの。

**「賛成12 反対2」**

**問** 引き続いての指定になるが過去3年間の検証はどうだったのか。また、指定期間を5年間とした理由は何か。

**課長** 施設の維持管理面においては適切であったと評価している。一方、製造加工の面では技術者の人材確保に期間を要したが、現在は人材もそろい製造販売が安定的に実施できる状況と考えている。指定期間を5年間とした理由は、機器類など製造加工の投資に対する採算面、中長期的な計画や展望に基づいた運営面、人材育成や技術の習得面など総合的に判断して5年間とした。

**問** 地域住民のなかでは、食彩の工房が公の施設という認識が希薄化している。今回の契約を契機に、基本協定書や仕様書に基づいた管理運営が確実に実施されるよう、町として管理監督をすべきである。

**町長** 管理監督、検査を厳重に行うていきたい。

**問** 指定の期間を5年と長期にするこにより、民間活力という趣旨が形骸化され、次の方向が出てこない



適切な運営が期待される 食彩の工房

**討論**

反対 山田 均 議員

期間は5年間とするものであるが、5年後の次にさらに5年となっていくば、将来的に指定管理の業者に施設を引き渡すことにもなり、本来の目的から逸脱していくことになる。

また、設置目的や仕様書に基づいての取り組みや改善の内容が見えてこない。指導や運営が十分できていたかを検証し、今後のあり方や期間を再検討して取り組むべきであり反対する。

賛成 横山 勲 議員

食彩の工房は、地域の特産品の開発、農作業実習や加工施設を利用した体験実習、朝採り市などの触れ合い交流の場、農地の保全、所得の向上など地域の活性化を図ることを目的として設置されたものであるが、色々な問題が発生している。

今後は、契約書や仕様書に基づき適切な運営ができるよう管理監督され、地域住民から信頼され愛される食彩の工房としてよみがえることを期待し賛成する。

**人事**



副町長 島中 源一 (下大久保) 新任

教育委員会委員 十倉 一昭 (安栖里) 新任  
櫻井 博規 (三ノ宮) 新任  
監査委員 船越 肇 (水戸) 新任

公平委員会委員 片山 確 (中) 再任  
固定資産評価審査委員会委員 野間 久雄 (本庄) 新任  
固定資産評価員 島中 源一 (下大久保) 新任  
人権擁護委員候補者 片山加代子 (大簾) 再任

**選挙管理委員会委員**

大西 新一 (下山) 再任  
安井 安郎 (安井) 再任  
谷垣 忠 (上大久保) 新任  
正田 恭丈 (小畑) 再任  
選挙管理委員会委員補充員 十倉さちよ (安栖里) 再任

鈴木 修 (保井倉) 新任  
小倉さくみ (蒲生) 新任  
比村住ノ江 (下山) 再任

人事案件については、全て全員賛成で可決しました。

**契約**

学校教育用デジタルテレビ及び電子黒板機能付きデジタルテレビ等購入

契約金額は2502万円、株堀通信と契

約を締結しテレビ84台、電子黒板8台、ブルーレイレコーダー92台を購入するもの。

「全員賛成」

**問** 今回の条件付一般競争入札の条件と参加資格がありながら入札に参加していない町内業者は何社であったのか。

**課長** 参加の条件としては、町の指名競争入札の参加資格者名簿に登録されており、京都府内に主な営業所などがあるもので、取り扱える品目にコンピュータなどがあることを条件とした。今回、参加されなかった町内業者は、1社である。

**問** 今回は到底、地元業者が太刀打ちできない金額になっている。今後、地元業者の優先や商業活性の意味合いからも、地元業者を対

**国へ意見書を提出**

**電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書**

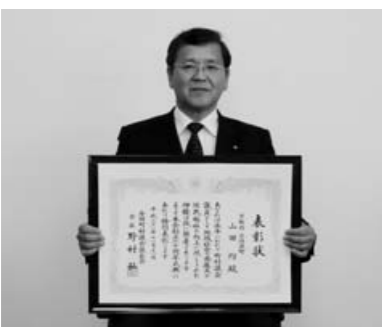
水力発電は原子力発電や火力発電に比べ環境への負担が少なく、再生可能なエネルギーとして電力の安定供給に大きく寄与してきた。しかし平成22年度末をもっておおくの市町村で交付期限を迎え水力発電施設の円滑な運転継続や電源立地に支障を生じることが危惧される。よって、次のことを要望する。

- ①平成23年度以降は恒久的な制度とすること
- ②最高限度額及び最低補償額の引き上げなど交付条件の改善や事務手続きの簡素化を図られること

「全員賛成」

**表彰**

全国町村議会議長会創立六十周年式典にあり、在職30年以上の山田均議員が特別表彰を受けられました。



**各議員の賛否**

平成21年12月定例会

同意7、諮問1、議案19、発委1の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

審議結果	議員名	横山 勲	岩田 恵一	篠塚信太郎	梅原 好範	森田 幸子	村山 良夫	山内 武夫	東 まさ子	野口 久之	坂本美智代	原田寿賀美	松村 篤郎	北尾 潤	小田 耕治	山田 均	西山和樹 (議長)
可	京都・丹波食彩の工場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	×	-

議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席



山内武夫 議員

## 病院経営の健全化をどうする

町長 利用しやすい環境づくりに努める



体育館の存続を (明俊小)

**問** 京丹波町病院の経営の健全化と、和知診療所の機能を合併前の状態に戻すとしているが、どのように考えているのか。

**町長** 医療施設やスタッフの確保に努め、利用しやすい環境づくりに努める。

和知診療所は、休日夜間の当直の再開のため、医師確保に努める。

**問** 和知地区から京丹波町病院へ直通する町営バスや、予約システムの導入など送迎を検討すべきだ。

**町長** 貴重な提言であるが、いままじ時間をいただきたい。

**町営バスの土曜日運行を早急に**

**問** 町営バスのあり方を見直すとの公約だが、どのように考えているのか。

**町長** 人員の確保、ダイヤの見直しなど課題はあるが、土曜日運行の実施を検討していく。

**問** 土曜日の運行の方は、PTAや学校と

も十分協議をされたい。

**町長** 地元やPTAの意見も聞きながら進めていく。

**府道の改良促進は町長が先頭に**

**問** 府道京丹波三和線と遠方瑞穂線の改良の課題解決に、町長自らが話を聞くことが大事である。

また、府道上野水原線は、一刻も早い改良が必要と考えるがどうか。

**町長** 京丹波三和線の早期改良に向け、陳情の先頭に立っていく。

遠方瑞穂線は、現地をみて話を聞きたい。

上野水原線は地元要望もあり、府への陳情に努める。

**問** 町長の言う「親切で温かみのある住民の目線に立った行政運営」とは、どのようなものか。

**町長** 地域に足を運び、

行政運営を図ることである。

**問** ケーブルテレビの議会一般質問が30分弱で一方的に放映打ち切りとなっている。質問終了まで放映すべきだ。

**町長** 非常に大事なことで、時間延長してでも放映すべきと思う。

**課長** 全町拡張整備ができた段階で検討する。

**小学校体育館の存続を**

**問** 明俊小と質美小の体育館は、取り壊す方向とのことだが、存続に向けて再検討すべきだ。

**町長** 今後、利用状況など勘案し、地域のみなさんと一緒に検討していきたい。

**問** 旧瑞穂病院は通学道に面しており、防犯上の問題もある。小学校の周辺整備と併せて処分を検討すべきだ。

**町長** 統合準備委員会



篠塚信太郎 議員

## 丹波マークスへの委託料・補助金は

町長 補助金110万円の辞退申出を受けたい

**問** 丹波マークスへの町からの委託料及び補助金はいくら支出しているのか。今後、町からの委託料、補助金の額をどのように考えているのか。

**町長** 20年度は、うるおい館の委託料に500万円、補助金1100万円を支出している。委託料は今後も同様に措置したい。なお、会社から110万円の補助金の辞退申出があり、受けたいと思っている。

**丹波マークスの借入金返済状況は**

**問** 借入の残高は8億5410万円余りあるが、計画どおり返済が進んでいないのではないかと。いくら繰り延べしているのか。今後の返済計画は。

**町長** 5年据え置き15年返済を、20年で返済していることは事実であるが、経営的に問題だという認識ではない。

**バス料金の社会実験結果と分析は**

**問** 21年9月に実施した町営バス料金社会実験の結果と分析は。

**町長** 半額割引の社会実験を実施した結果、ほとんどの路線で目立った変化もなかったが、今後、路線再編の中で料金も検討したい。

**敬老乗車バス発行は**

**問** 高齢者の方が町内どこへでも気軽に出かけられるように、敬老乗車バスを発行する考えはないか。

**町長** 高齢者への敬老乗車バス発行を含めたバス料金の補助については、今後、全体的な料金体系を決定していくなかで、積極的に取り組みたい。

**町営バスの土曜日運行は**

**問** 中学生のクラブ活動や一般乗客のための土曜日運行を実施する



土曜日運行が待たれる町営バス (和知車庫)

考えはあるのか。

**町長** 土曜日運行は、新たな人員の確保やダイヤ改正、経費などの課題があるが、実施すべく検討している。

**和知診療所の機能回復の見通しと経費は**

**問** 町長公約の診療所機能をもとに戻す見通しと、これに係る経費の見積額は。

**町長** 医師の確保に向け努力し、23年度中を目標として取り組んで

いく。経費の見積額は、20年度の実績で約3700万円である。

**太陽光発電システム設置補助額は**

**問** 来年度より住宅用太陽光発電システムの設置に補助制度を設けると所信表明されたが、1キロワット当たりの補助額は。

**町長** 現在のところ1キロワット当たり3万円を予定している。



松村篤郎 議員

# 下山バイパス周辺を 活かす町づくり構想は

## 町長 町と関係機関と協調し地域の活性化を図る



テクノパークを横断した下山バイパス

**問** 京都中央テクノパークへの企業誘致をバイパス開通の目玉とする考えはあるのか。

**町長** 土地所有者が第三者に変わっており、開発当初の基本協定書は、効力がないとされている。現在の所有者と町との新たな協定締結は困難である。

下山区民のこれまでの努力の経過を理解す

るなかで、区民の不安を取り除き企業進出による地域活性化を図りたい。

町として環境づくりやインフラ整備をはじめ、町税優遇制度の活用などを図りたい。

**問** 京丹波三和線と下山バイパスへのアクセス道として橋の新規建設の考えはあるのか。

**町長** 道路利用者の利便性を図るためにも、このアクセスについては今後、十分な検討が必要である。

**問** 畑川ダム湖周辺整備ビジョンはあるのか。

**町長** これまでの構想を見直し、完成後の維持管理などもふまえ、持続可能な整備と地域に活性化をもたらす整備をダム対策協議会とも検討していきたい。

さらに府に要望を行い、治山事業を活用した治山えん堤や、森林整備を進めるよう協議をする。広葉樹林帯の修景施設や遊歩道の整備は、府単独事業の導入を検討いただいている。

**交通安全対策の充実を**

**問** 下山バイパスの安全確保はどうするのか。

**町長** 交差点や公共交通機関の案内表示は、地元の声をお聞きした上で設置されるよう国土交通省に伝えている。今後は、交通実態をふまえた上で交通安全対策の充実が図られるよう、関係機関に働きかける。

**問** 白土橋の歩道設置をすべきではないか。

**町長** 以前から国土交通省に要望をしているが、通学路でないため優先度の関係で事業化されていない。引き続き強く要望していく。



村山良夫 議員

# 元浅田農産の鶏舎による 風評被害について

## 町長 府への要請の先頭に立つ

**問** 山田知事は4年前に発刊した「危機襲来」で、山口県に比べて短時間で処理したと述べている。なぜ、短時間で処理できたと思うのか。

**町長** 地元の犠牲的な協力があったことであり、改めてこの場で敬意を評したい。

**問** 地元住民は、法的な権利を主張することなく、「正義とは何か」に基づき行動した。府は、なぜ、鶏舎の撤去をしないのか。

**町長** 家畜伝染予防法では、鶏舎の撤去は必要でないためである。府も法律を超え、義をもつて対処すべきであると思わないか。

**町長** 府に予算措置などを要請する。

**問** 町長は先頭に立つてくれるのか。

**町長** 地元住民、西部環境保全検討委員会の先頭に立つてがんばる。

**行政サービスについて**

**問** 町長は、初登庁時に「町の主は町民である」とあいさつされた感銘を受けた。本議会には、幹部職員が多く出席しているが、この間は、町民への行政サービスは停滞している。説明者の出席は、議長からの要求ではあるが、町長の見解は。

**町長** 行政サービスが停滞している事は理解できるが、議会としての検討をお願いしたい。

**問** 議場の設営も、主たる町民である傍聴の方はパイプ椅子、公僕たる町幹部、議員は高級な椅子、町長から見ると違和感はないか。

**町長** 国会、府会などを参考に、議長、議会と協議し改善したい。

**問** 「町の主は町民。理事者、職員、議員は、公僕」と理解されてこそ、町民の信頼と協力が得られ、協働の町づくりができるのではないか。



元浅田農産鶏舎あと（安井地内）

くりができるのではないか。

**町長** 同感できる。

**給与体系について**

**問** 「職員給与の硬直化」「理事者の期末手当」「議員報酬のあり方」は、財政改革の第一歩として取り組むべきでないか。

**町長** 時期を見て報酬審議会で審議いただく。

**デジタル放送の中継局について**

**問** 本町でのワンセグなどでの受信は可能か。

**町長** デジタル放送の受信は、ケーブルテレビで対応する。中継局が設置されなければ、ワンセグなどでの受信はできない。



東 まさ子 議員

# あらゆる方策を考えて 国保税の引き下げを

## 町長 引き下げの余裕がない

**問** 国保税は20年度、21年度と連続の引き上げで、合計、一人当たり2万7000円の引き上げとなり負担は限界となつている。新聞報道が国保税の市町村間の格差を取り上げていたが本町の状況はどうか。また、高齢者単身世帯の状況は。

**町長** 夫婦と子ども2人の中間所得世帯では27万2700円でやや高めである。**課長** 高齢者単身世帯は3万3300円でありなり上位である。順位は公表できない。**問** あらゆる方策を考えて、国保税の引き下げをしていく、負担を増やさないと決意はないのか。

**町長** 引き下げの余裕はなく、基金を崩して

### 畑川ダムも見直すべき

**問** 5年ごとに行われている府の公共事業再評価に際し、竹野水源などは夏場の枯渇が著しいとして、ダム建設の根拠のひとつとなっている。しかし、丹波・瑞穂統合簡易水道事業から竹野配水池分4500万円がカットされているのはなぜか。

**町長** 竹野水源は将来



夏の枯渇が心配される（竹野浄水場）

### バス運行の充実を

**問** 誰もが高齢とともに運転免許証を返還しなくてはならない。まちづくりにバス運行の充実が求められる。住民に便利なバス運行にするため200円バス、福祉バス、予約制のデマンドバスなど先進地の調査研究をしてはどうか。

**町長** 先進地などの調査研究もしていきたい。



梅原好範 議員

# 町民の命綱、 救急体制の格差是正を

## 町長 組合業務に目を配り、不安解消をめざす

**問** 中部広域消防組合の管内において、救急搬送体制に顕著な地域格差があり、町民は切実な不安を感じている。町長は、現状をどのように把握しているのか。また、是正策は。

**町長** 各課題を共有し、町の発展を目ざして町民と行政が手を携えていくためにも、あらゆる機会を通じて情報を発信していきたい。

### 情報公開の充実で町民の不安解消を

**問** 合併後は町の現状や将来像などの行政情報を見聞きする機会が限られ、町民には不安感が広がっている。町長の公約である不安解消に向けた情報公開

**町長** 常々町民の目線で考えて行動するため、行政事情を優先することなく、自身が積極的に地域に向かい、町民の二

### 町民と手を携えた行政運営のあり方は

**問** 行政と地域の協力では、下乙見区が長年悩んできた難視聴の解決策としてケーブルテレビ拡張整備事業に区を挙げて協力を申し出られた事例や、大倉区民の方が地域に必要な事として行政に要望すると共に、自らの手で作業し立派な公園を整備された馬の踏石公園などがある。町民と手を携えた行政運営のあり方についての考え方は。

### 地域に対する行政の関わり方は

**問** 公約で掲げられた地域担当職員の職務内容は、また、各地域で設立に向けて取り組まれている住民自治組織との関わり方は。

**町長** 地域で実践されてきた組織体制や手法に対し、できる限りの協力をしていきたい。



町民の安心・安全の要、丹波出張所（富田地内）



森田幸子 議員

# 乳児に絵本を プレゼントする事業を

町長 前向きに検討したい

**問** 公明党は12年1月に子ども読書運動プロジェクトチームを結成し、一貫して読書環境の整備に取り組んできました。この結成を機に、朝の10分間読書運動、読み聞かせ運動、ブックスタート運動に力を入れてきた。10分間読書に取り組んだ学校からは、不登校や保健室登校が減ったり、いじめが少なくなったりなど

の報告が相次いでいる。また読み聞かせも当初の意味があるのかと、冷やかな反応もあったが学校と地域との絆ができ、今ではすっかり定着した運動になっている。ブックスタート運動は3カ月から4カ月健康診査時に絵本をプレゼントする事業であるが、ブックスタート運動を実施する考えは

ないのか。  
**町長** 親子が本を通して心を通わせ、想像力や思いやりのある情操豊かな子どもを多く育ていくためにも大変重要であると認識している。ブックスタート運動実施に前向きに検討する。  
**問** どういった形です。  
**課長** 心の健康も重要

ので子育て支援課と教育委員会の図書部門と協議して、できれば来年度からでも実施をと考えている。  
**がん検診について**  
**問** 受診率と受診の効果は。また受診率アップの対策は。  
**町長** 受診率は子宮がん43・5%、乳がん30%、胃がん21・9%、肺がん47・8%、大腸がん40・8%である。受診の効果は、受診者数1万993人のうち再検査628人、そのなかでがんと診断された方11人、その他疾患の方が311人、がんを含めた疾病の早期発見・治療につながっている。受診率アップの対策として、健康づくり推進協議会を中心に受診率向上のため、各種団体の協力を得て啓発活動を推進する。



お母さん 本よんで



坂本美智代 議員

# 「将来的に廃止の方向」 の真意は

町長 質美診療所の廃止は考えていない

**問** 高齢化するなかで、安心して暮らせる町づくりが求められており、町長の地域医療への考えを伺う。  
**町長** 地域医療体制の確保は、住民が暮らしに最も必要である。今後もしっかりと守って行きたい。  
**問** 質美診療所の廃止にひいては、新聞報道がされてきたが、真意を伺う。  
**町長** 廃止は考えていない。廃止するときには、住民の方との合意が得られた後の話である。

待たれる学童保育の  
拡充

**町長** 指導員や保育施設の確保など課題があるため可能な範囲で対応したい。  
**問** 中学校給食の実施時期は。  
**町長** 府内の中学校の給食実施の状況は、給食センター方式と考えているのか。今、食物アレルギーの子どもたちが増えているなか、センター方式で対応できるのか。  
**町長** 府内の実施率は35・7%である。25年をめどにセンター方式の計画である。アレルギー問題は解決できる。  
**交通安全対策を**  
**問** 下山バイパスが横断しているグリーンハイウェイ内では、信号機や標識もなくスピードを出して走る車も多く、大変危険である。早急に交通安全対策を国交省に求めるべきである。  
**町長** 下山バイパスを



今日のメニューはな～に（和知中学校）

横断している町道下山日吉線に信号機を設置予定である。また、ほかの交差点に案内標示の設置を国交省に伝え、今後も交通安全対策の充実を図っていきたい。  
**問** 交通安全、防犯の観点からも開発団地への防犯灯の設置補助金を交付すべきである。

**町長** 目的が安心安全防犯としてのことから検討したい。  
**問** 七山峠は旧町間を結ぶ町道であり、水道管も敷設されているが、雨水であらわれひどい状況である。町道の維持管理は町の責任ですべきである。  
**町長** 地元の協力をいただいて、維持管理をしていきたい。



山田 均 議員

# いまこそ住宅改修 助成制度の創設を

## 町長 予算が組めるか検討はしたい



仕事おこしの助成制度を

**問** いま、町内の中小零細業者の仕事は大きく減少し、廃業も増えている。行政として仕事おこしの施策を取り組むべきである。与謝野町では大きな効果を生んでいる。  
**町長** 現在、耐震改修助成制度の実施に向けて取り組んでいる。住宅改修制度については、予算が組めるか検討は

したい。  
**問** 人口増加計画は破たんダムは見直し・中止を  
**町長** 丹波・瑞穂地区の開発団地に6千人の人口が増える計画は破たんした。畑川ダムは見直し・中止をすべきである。ダムの負担は、高度処理施設費用も含めると24億2千万円が町民の負担になる。

**問** 鳥獣被害が年々拡大し、農作物を作る意欲を失うなど待ったなしの課題である。防除と同時に頭数を減らすことが必要である。駆除員は、会費などの負担もあり増えていない。町独自の駆除員制度をつくり駆除専門の班を作るべきでないか。

### 獣害対策に駆除班を設けるべき

**町長** 契約をすることになると思う。

**問** 企業と水使用の契約を  
**町長** 町内の一事業所が大量の水を必要としているが、経済状況により計画は変わる。「町は企業と契約書で確認をすべき」と府の再評価委員会でも指摘されたがどうか。

**町長** 人口計画が破たんしているかの判断は非常に難しいが、ダムは推進すべきと考えている。

**問** 和知診療所の医師確保は、色々なつながりを活かして広く取り組んでいく必要がある。  
**町長** あらゆる方面からの情報を収集して取り組んでいきたい。  
**問** 国道27号中山地内の交通安全対策は、最優先されるべき箇所である。  
**町長** 早い機会に国土交通省に陳情したい。

**町長** 猟友会と連携して有効的な体制整備を研究していきたい。  
**引き上げは一旦凍結を**  
**問** 和知地区の水道料金、水道管の太さではなく使用水量で計算も不十分であり、引き上げは一旦凍結し、住民の合意・納得を得て進めるべきでないか。  
**町長** 必要な経費を負担してもらうための改定であるが、高齢者世帯への減免も考えたい。



岩田恵一 議員

# 住民目線での 町政運営は

## 町長 町民と行政の信頼関係が大切

**問** 今回の町長選挙については、町政4年間の評価が問われたなかでの結果であり、新しい町政の流れを多くの町民が期待し、寺尾町政を選択したのだと思うが、その勝因はどこにあったと考えるか。  
**町長** 国政における政権交代など変革を求めた流れもあるなかで、本町ではまず安心できる医療体制の充実、住民目線での町政運営、行政との信頼関係の構築などを訴えてきたことが理解いただいた結果と考えている。

### 公約のなかで最優先課題は

**問** 30項目にわたる公約のなかで、まず取り組もうとする最優先課題は何か。  
**町長** 和知診療所の常勤医師の確保と地域医療における課題に取り組んでいきたい。

**問** 事業仕分けで見直しを  
**町長** 限られたなかで創意工夫を行い、不要不急の事業の洗い出しや無駄なコストの追究など、行財政改革を推進し、新たな政策展開ができる財源を生み出していく必要がある。事業検証は総合計画実施計画のなかで毎年度見直し精査を行っているが、効率化のための事業仕分けも含め今後研究していく。  
**問** 公約実現のため、企画・立案・実行をするプロジェクトチームの設置の考えはないか。  
**町長** その施策の規模や専門性、部局横断性などを踏まえたなかで検討していく。

### 協働のまちづくりの継承は

**問** 前町政が進めてきた協働のまちづくりを、継承していく考えはあるか。  
**町長** 住民自治組織によるまちづくりを継承し、地域の特色を活かした住民参画による協働のまちづくりを目指して積極的に取り組んでいく。



地域活動の拠点 質美振興会

### 組織改革、執行体制の見直しを

**問** まちづくりは人づくりからであり、行政

と住民との信頼関係の構築のため、行政組織の改革、執行体制の見直しの考えはあるか。  
**町長** まさに人づくりからであり、組織改革も含め積極的に取り組んでいく。  
**問** 支所機能の充実と職員提案制度の導入など、創意工夫による行政運営が必要でないか。  
**町長** 支所機能の向上は重要な課題であり、また、職員提案制度は今後の研究課題としていく。